

かみまち議会だより GIKAI-Press



はじめての給食

はやく食べたいなあ♪

関連記事は
5ページ

● 第1回定例会(2/20~3/5)

- R8注目事業…………… P4
- 一般質問 町政を問う…………… P8
- 汚染牧草の町内保管完了… P14

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索

<https://kami-town.stream.jfit.co.jp/>



と子育て支援

給食費支援など

令和8年度 一般会計予算

148億5,000万円

前年度比 7,000万円 (0.5%) 増

第1回 定例会

[本会議]

(2/20~3/5)

2/20 施政方針
一般質問 3人
2/24 一般質問 4人
2/25 一般質問 3人
議案審議
3/5 議案審議

[予算審査特別委員会]

(2/25~3/5)

第1回定例会は、2月20日から3月5日までの14日間で開催しました。
町長から令和8年度の町政運営を示す施政方針が述べられ、10人の議員が町政について一般質問をしました。
議案審議では、予算審査特別委員会で審査した当初予算など28議案を原案どおり可決、人権擁護委員の人事案件2件に同意しました。



健康

ウォーキングにポイント付与



農業
振興

町産和牛のブランド推進

令和8年度 特別会計・公営事業会計予算

会計別	予算額	前年度比	増減率
特別会計			
国民健康保険事業	27億4,000万円	△2,000万円	△0.7%
後期高齢者医療	4億1,300万円	7,400万円	21.8%
介護保険	32億8,000万円	1,000万円	0.3%
介護サービス事業	610万円	△10万円	△1.6%
加美郡介護認定審査会	600万円	△50万円	△7.7%
霊園事業	380万円	160万円	72.7%
町営駐車場事業	250万円	0円	0%
下水道事業	16億2,850万円	△2,040万円	△1.2%
水道事業	7億5,976万円	6,148万円	8.8%

定例会で審議した内容

人事案件	当初予算	補正予算	計画策定	条例改正	条例制定
...
2件	10件	7件	1件	9件	1件



重点施策は「三こう」

観光・健康・農業振興

前年度対比7,000万円増額の
主要因は、新庁舎建設工
事や台湾嘉義市との交流促
進、各種子育て支援の充実
化、健康デジタルポイント
アプリ導入による健康づく



予算審査特別委員会
委員長 伊藤 淳

委員長報告

まちづくりの種 結実に期待

りの推進、スポーツ合宿誘致
に向けた町内体育施設のトイ
レ改修などによるものである。
厳しい財政状況ながらも、高
度化・複雑化する行政課題や
将来的な成長分野に注力した
予算となっており、大いに評
価できるものである。
これらのまちづくりの種が
確実に実を結び、町の発展と
住民福祉の向上に繋がること
を期待する。

筋川の油流出問題、学校部
活動の地域展開は、いまだ解
決の糸口や具体的な方向性が
見えないため、解明に向けて
なお一層の努力を要望する。
また、オーガニックビレッ
ジ宣言に伴う有機農業の取り
組みなど、町長の施政方針に
対して十分な予算措置が伴っ
ていないものについて、精査
を行い予算計上を切望する。

各種要望点



観光

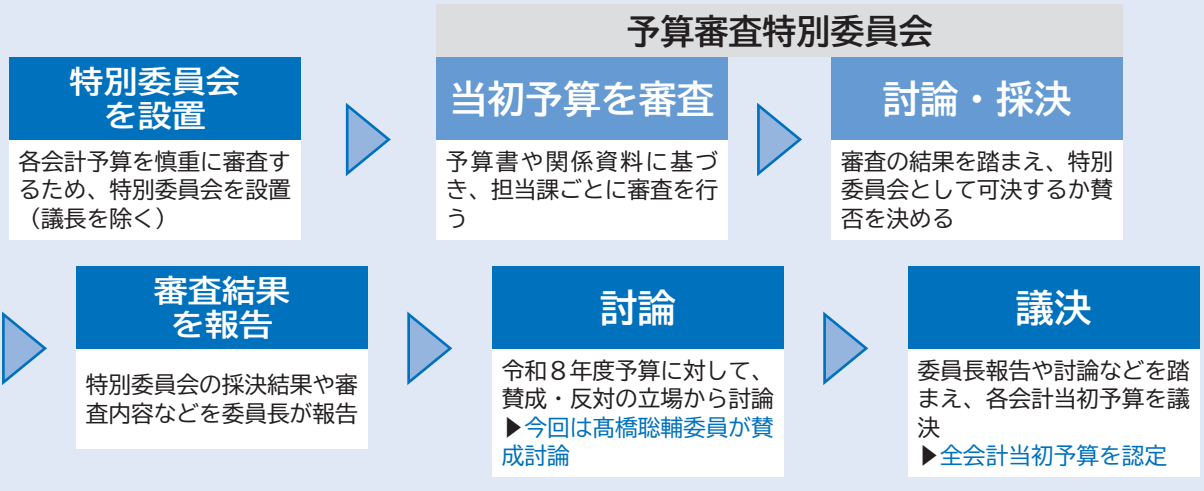
自転車ロードレース世界大会開催



子育て
支援

小中学校給食費の保護者負担を軽減

予算審査の流れ



令和8年度 この事業・予算に注目

一般会計歳出 148億5,000万円

(対前年 7,000万円 増額)

予算審査特別委員会では、担当職員から説明を聞き細部にわたり慎重に審査しました。

その中で、多くの委員が注目した事業・予算について、意見や考察を含めて紹介します。

観光施設の指定管理

予算額 3億3,912万円



やくらいビールが缶になり飲みやすくなります

議会はこちら見る！

昨年度から、約9,340万円の大幅増となった。議会は物価高に伴う指定管理料の増額や老朽施設の重点修繕を観光拠点の維持に必要と認めた。一方で公社には人件費最適化や施設の合理化などによる抜本的な経営改善を強く求める。地ビール缶充填機導入などの挑戦を収益につなげ、職員が意欲を持てる環境を優先し、持続可能な観光運営体制の構築を期待する。

台湾嘉義市との交流

予算額 412万円



台湾のおみやげ屋で加美町地酒取り扱いの商談中

議会はこちら見る！

台湾嘉義市との友好都市協定が結ばれたことにより、令和8年度は本格的な交流がスタートする。地場産品の輸出のほか、スポーツ・教育分野を含めた人的交流などが考えられており、その窓口が派遣職員の役割となる。交流が町に大きなメリットを生むことを期待するとともに、派遣職員が慣れない土地での業務と生活で体を壊さぬよう、サポート体制も整えてほしい。

体育館トイレの修繕・洋式化

予算額 1,421万円

議会はこう見る！

要望の多かった体育館トイレの修繕・洋式化が予算化された。長く故障した状態が続いており、施設の利便性向上が期待されたため、次年度以降も計画的に行うことを要望する。また、昨年度陸上競技場に夜間照明が導入されており、夜間記録会などが可能となっている。今回のトイレ改修を含めて整備を進め、スポーツ合宿の誘致など施設利用拡大につなげて欲しい。



利用拡大に向けて十分な整備を

学校給食の保護者負担軽減

予算額 3,550万円

議会はこう見る！

国が掲げる学校給食費の抜本的な負担軽減事業を受け、町内の小中学校では給食費にかかる保護者負担が今年度から小学校は完全無償化、中学校は町が7割支援することになった。加美町在住で町外の小中学校へ通う生徒も対象となっている。町からの支援金は国・県の交付金と一般財源を合わせたものであり、各家庭における教育費の軽減に大きな効果が期待される。



おいしい給食 手を合わせて「いただきます！」

町産県基幹種雄牛の交配促進

予算額 50万円

議会はこう見る！

加美町産の県基幹種雄牛「勝美桜1」の産子の生産支援として補助金を創設し、町内農家を対象に「勝美桜1」との交配に1万円の助成を行う。「勝美桜1」の産子は油の質（口どけ・おいしさ）が高く、これまで和牛改良の主眼であった肉量と肉質に付加価値として油の質をプラスすることが注目されている。これを推進することで、特徴ある和牛子牛産地となることを期待する。



「勝美桜1」の子であり県で高い評価を受けた「さくらこ号」

議案 審議

令和8年度各種会計当初予算が全会一致で可決されたほか、加美町有害鳥獣解体処理施設条例の制定や人権擁護委員の諮問などについての審議を行いました。

隊員の鳥獣処理負担軽減

いよいよ稼働 解体処理施設



外観（右上）、残渣用冷凍庫（右下）、解体前保存用冷凍庫（下）、クレーン（左）

捕獲したイノシシやクマなどを解体処理する施設が完成し、4月から稼働しました。場所は宮崎浄化センターの隣です。施設は町が管理し、加美町鳥獣被害対策実施隊員が利用できます。

これまでは鳥獣を捕獲した際、解体を隊員の自宅などで行っており、とても大きな負担を強いられていました。施設の完成によって、解体の省力化と、それによる捕獲体制の強化が図られます。

問 利用後の設備や清掃の状況はどのように確認するのか。

答 きれいに施設を利用できる体制が整うまで、当面の間は農林課が現地に行き確認する。

区長報酬の 引き上げ

区長報酬は、平成29年に改正して以来同じ基準で算定していましたが、近年の急激な物価高騰や、鳥獣被害による巡回・会議などの増加を鑑み、基本額と距離割額が令和8年度より引き上げられます。改正内容は下の表をご覧ください。

区分	内容	金額
基本額	年間の基本額	378,000円 ⇒ 396,000円
距離割額 ①	本庁・支所から行政区までの距離に乗じた額	6,000円/km ⇒ 12,000円/km
距離割額 ②	行政区の端から端までの距離に乗じた額	18,000円/km ⇒ 24,000円/km

人権擁護委員の 再任同意



あさの もりお 浅野 盛夫 さん
(下小路1)

人権擁護委員の浅野盛夫さん、伊藤延夫さんの任期満了にあたり、引き続き2人を委員に推薦することに同意しました。任期は令和8年7月1日から3年間です。



いとう のぶお 伊藤 延夫 さん
(下区)

人権擁護委員とは…
法務大臣が委嘱し、地域住民の人権相談への対応や、人権問題の啓発活動などを行います。

子育て家庭を応援します

出産祝い金増額

出産に伴う経済的負担の軽減と子育て支援の充実を図るため、出産祝い金を増額。かねてより要望があつた現金給付の割合を増やします。

また、薬用植物ムラサキのエキスを配合したオールインワンジェルも贈呈し、出産後のお母さんも応援します。

問 何を参考にして金額を決めたのか。

答 県内の自治体を参考に設定した。今後ニーズを探りながら、贈呈品の内容や、さらなる増額について検討していきたい。



未来を担う子どものご誕生を町でもお祝いします

	現金	商品券	合計
第1子	0円 ⇒ <u>2万円</u>	2万円 ⇒ 1万円	2万円 ⇒ <u>3万円</u> 1万円アップ!
第2子	0円 ⇒ <u>3万円</u>	2万円 ⇒ 2万円	2万円 ⇒ <u>5万円</u> 3万円アップ!
第3子	5万円 ⇒ <u>7万円</u>	5万円 ⇒ 3万円	10万円 ⇒ <u>10万円</u> 現金比率アップ!

お詫びと訂正

4月1日発行の議会だより速報版において、出産祝い金の現行支給額(第2子)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤 3万円
正 2万円

補正予算

令和7年度各種事業の不用額の整理などにより、歳入歳出からそれぞれ1億5,972万4千円を減額し、総額160億1,200万7千円とする一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算

	主な内容	補正額
歳入	普通交付税	2億2,092万円 増
	企業版ふるさと納税 寄付金	780万円 増
	財政調整基金繰入金	3億5,000万円 減
歳出	新庁舎整備事業	1,748万円 減
	予防接種事業	4,973万円 減
	住民検診事業	1,047万円 減
	児童・生徒・教職員用 タブレット端末更新	2,889万円 減

Pick UP

Pick UP 健康チェックは町の検診で

●住民検診事業費 1,047万円 減額

補正の主な内容

各種検診の受診者が見込みよりも少なかったために生じた不要額を減額するものです。令和7年度は前年に比べて全体的に受診者が減少しました。病気の早期発見や生活習慣の見直しのため、1年に1回、定期的に受診しましょう。

令和8年度検診の一覧はこちら



※期間中に受診できなかった方は未健者健診で受診できます。

町政を問う 10人が質問

似顔絵を描いてくれたみなさん

加美町立

鳴峰中学校 総合探究部



一般質問目次

通告1番 **三浦 又英** (みうら またひで)

観光振興 9ページ
台湾・嘉義市との交流は

通告6番 **今野 清人** (こんの きよと)

油流出問題 11ページ
今後の原因調査の手法は

通告2番 **伊藤 由子** (いとう ゆうこ)

健康増進 9ページ
実態を知ることが第一

通告7番 **早坂 潔** (はやさか きよし)

情報化社会 12ページ
町民がネット機器に慣れるには

通告3番 **木村 哲夫** (きむら てつお)

地域活性化 10ページ
利便性向上を図る施策は

通告8番 **早坂 伊佐雄** (はやさか いさお)

部活動 12ページ
施政方針の「原点に立ち返り」とは

通告4番 **高橋 聡輔** (たかはし そうすけ)

河川管理 10ページ
所有者不明になる前に管理を

通告9番 **米木 正二** (よねき しょうじ)

移住定住 13ページ
若年女性の定住促進へ

通告5番 **伊藤 淳** (いとう じゅん)

獣害対策 11ページ
今後のクマ対策は

通告10番 **佐藤 圭介** (さとう けいすけ)

菓業活性化 13ページ
新たなコンセプトと誘客策は

●一般質問…議員が、町への政策提言や町の課題などについて、町に質問すること。
(掲載しているQRコード(議員写真下)で、録画映像を視聴できます。)

台湾・嘉義市との交流は

町長 友好都市の提携に合意



三浦 又英 議員



派遣職員へのインタビューをP16（裏表紙）に掲載しています。

町長 20代町職員1人を3年程度考えている。

問 嘉義市への職員派遣の詳細は。

町長 教育・経済交流も含む、民間交流の形をつくりたい。顔の見える交流が重要であり、派遣職員が潤滑剤の役割を果たすことを期待する。

問 政策アドバイザーの久保氏の力添えに加え、町長的情熱により迅速に協定を結ぶことを賞賛するが、令和8年度の展開を伺う。

町長 3月25日に嘉義市での調印が打診されており、具体的な旅程を検討している。

問 加美町と嘉義市の友好都市協定の締結時期は。

質問のねらい

観光・健康・農業振興の「三こう」を基軸に町政を進めると施政方針で述べており、特に台湾・嘉義市との交流について質した。

その他の質問

- 健康と生活環境改善
- 農業振興と食

町長 先進事例を参考に、早い段階で制度設計を行う。

問 町民が嘉義市を訪問する際における助成制度を制定する考えは。



協定調印式

実態を知るための方策は

町長 まずは職員が模範を示す

問 大崎管内の疾患別死亡状況を比較すると、加美町は脳血管疾患で亡くなる割合が男女ともに高い。原因として考えられることは何か。

町長 大崎管内の疾患別死亡状況を比較すると、加美町は脳血管疾患で亡くなる割合が男女ともに高い。原因として考えられることは何か。

問 加美町の状況についてどのように指摘しているのか。

町長 利用者6割は高齢者で、かなりひどい状態で運ばれてくる状況とのこと。日頃の受診が必要との助言があった。

問 大崎市民病院1市4町の利用状況を比較すると、加美町民の入院・外来延べ患者数が、他市町に比べて断トツに増えているが。



伊藤 由子 議員



その他の質問

●新庁舎建設に係る今後の支所機能のあり方

町長 全庁を挙げての真意は、職員が理解・実践し模範を示すこと。職員の健康デジタルアプリ活用など、まずはお金をかけずにやっていく。

問 住民自身が健康実態を認識するべきだが、保険健康課の取り組みだけではできない。町長は健康づくりの推進に全庁横断的に取り組むと言うが、その具体的な方法は。

町長 後期高齢者の健康診断受診率が、令和4～6年度において県内最下位の20%未満であり、そのために健康状態不明者が多いと考えられる。

質問のねらい

加美町は救命救急センターの利用が大幅に増加中。脳血管疾患の重症化が原因という。実態を認識する機会を全庁を挙げて作るべき。

利便性向上を図る施策は

町長 バス停や運行時間帯を再検討

問 民間事業者に委託してきた住民バス予約センターの管理運営を町直営にするという理由はあるか。

町長 住民バス運行業務の関係事業者会議で「本来、住民バスセンターは町で管理運営すべきもの」という意見があり、健全な管理運営と勤務職員の安定雇用に資するため、令和8年度から町直営とする。

問 西古川駅への直行便の利便性向上を図る施策は。

町長 アンケート結果などを踏まえて、利用者に合わせたバス停の配置や運行時間帯の設定などを再検討する。また、利用条件の範囲拡大や料金体系も併せて検討していきたい。

問 中新田地区を回るルートはつくれないか。

町長 地域公共交通活性化協議会などで、民業圧迫にならないか意見を伺い検討したい。



木村 哲夫 議員



録画映像

問 AIオンデマンドバスの実証運行の状況は。

町長 各便始発の1時間前までの予約で乗車することが可能となった。実証運行を始めてから2か月間で新規利用者が36人増え、1月末現在で登録者が270人になり、利便性向上につながっていると実感している。



AIが最適なルートを作成して運行します

その他の質問

● 協働と自立ができるまち

質問のねらい

施政方針にある「安心して快適に暮らせるまち」の地域交通対策について、住民バス利用者の利便性向上のための管理運営を問う。

所有者不明になる前に管理を

町長 観光など資源の一つとして検討



高橋 聡輔 議員



録画映像

問 サッカー・ラグビー場を名称変更するが、ゴールやネット、ベンチの修繕もすべきでは。また、今後の部活動地域展開に伴い、子どもの居場所づくりとしてバスケットゴールなども作れないか。

建設課長 サッカーゴールは固定式であり公式試合には使えない。自由に使えるようにするため各種修繕に関しては検討する。バスケットゴールについても、意見として受け止め検討する。

問 河川敷の畑は使われておらず、雑草が生い茂っている箇所も見受けられる。所有者不明になる前に管理を促していく必要があると思うが。

町長 あゆの里公園内のほとんどの畑が、本人および相対での貸し借りで耕作されているのではないかと思う。今後、観光の視点から考えても、再整備も含めて検討したいが、予算や河川敷である点も課題となる。



管理が行き届いていない畑が所々見られる (画像：農地ナビ <https://map.maff.go.jp/>)

問 県の予算で除草・除伐を行ってもらったが、今後の予定はどうなるか。また、町民で除草できる程度まで木の伐採はできないか。

建設課長 県でも10年くらいかけて支障木の伐採を計画しているようである。

町長 除草だけでなくさまざまな方策があるので、木の伐採や管理体制に対しても県に強く呼びかけていく。

質問のねらい

熊出没緊急事態宣言の影響などで支障木を伐採してもらったが、これを機会に新たに公園管理の青写真を描くべきでは。

その他の質問

● 学校教育（施政方針）

今後のクマ対策は

町長 組織全体で協力体制を確立



伊藤 淳 議員



録画映像

質問のねらい

災害級とまで評されるクマ被害の拡大を未然に防ぐため、事前の備えを確立しておくべきとの視点で政策を検証する。

その他の質問

● 公共施設等総合管理計画

問 有害鳥獣捕獲担当の専門職の配置が必要では。
町長 必要に応じて知識・経験が豊富な会計年度任用職員配置を検討したい。

問 捕獲に対して各種助成の考えは。
町長 クマの有害捕獲手当の引き上げや、狩猟免許取得から銃所持までの経費への助成を計画している。

問 今後考え得るクマ対策について、具体的にどのような取り組みでいくのか。
町長 クマを引き寄せない対策としては、柿や栗の木などの伐採に関する相談を受け付け、要望のあった誘因木の一部を伐採していく。



町内で目撃されたクマ

問 野生動物の管理を学んだスペシャリストを広域で配置することを提案したいが、どのように考えるか。
町長 1市4町でそうした専門職を雇うことも一つの大きな提言と思う。

今後の原因調査の手法は

町民課長 関係機関に協力を要請



オイルフェンスで下流域への油流出防止

問 筋川へ流出している油種は何か。また、田川・鳴瀬川への流出、水田やそこで生産された米への影響は確認されているのか。
町民課長 油種については灯油との検査結果が出ている。オイルフェンス設置などの対策により下流河川、水田への流出は確認されていない。



今野 清人 議員



録画映像

● その他の質問
消防・防災体制

問 議会として特別委員会を設置し対応するべきでは。
議長 議会運営委員会に諮問し検討する。

問 原因調査を今後どのように行っていくのか。
町民課長 町では対応できることが限られ主導的措置が講じられない。大崎保健所、北部土木事務所、加美消防署などの協力が必要であり、今後も連携を図っていく。

問 町で行った原因調査の内容とその結果は。
町長 ボーリング調査を10箇所から灯油成分を検出したため、近隣民間施設の灯油地下タンク油加圧検査を消防署、保健所立ち合いで実施した。タンクおよび付属配管からの漏れは確認されなかった。

質問のねらい

昨年2月に筋川への油流出が確認され、1年が過ぎた町の対応と現状を伺い、解決に向けた取り組みを問う。

町民がネット機器に慣れるには

企画財政課長

気軽に相談できる環境を整備



早坂 潔 議員



録画映像

問 高齢者がデジタル技術に身につけるために、どう取り組んでいくのか。また、小学生へのインターネット教育方針は。

町長 例えば、令和8年度から実施予定のデジタルポイント事業では、委託業者からの説明や町職員向け研修会開催を検討したい。

教育長 小中学生には、配布しているタブレットの活用目的などを正しく理解して利用できるように、随時指導している。

問 情報収集能力の違いが生活の格差を生まないよう、相談窓口の設置やスマホ講座の開催など、デジタルに触れる機会を増やすべきと思うが。

企画財政課長 誰一人取り残されないデジタル社会の実現を目指して、気軽に相談できる環境の整備や、対応力の向上に向けた取り組みを強化したい。

質問のねらい

生活必需品となっているネット機器の扱いによって格差や危険が生まれることを避けるために、各年代への配慮を伺う。

その他の質問

● 軟骨伝導イヤホンの導入



使い方次第で日常が変わります

問 ネットに潜む危険について、教員だけではなく保護者への啓発は十分に行われているか。

教育総務課長 各学校に情報担当の教員がおり、職員間で研修を行っている。保護者には学校だよりや新入生の説明会で啓発している。

施政方針の「原点に立ち返り」とは

町長 方向性や在り方を再検討する

町長 現在の状況から、令和9年度からの部活動地域展開実施は難しいのではないかと。令和8年度は課題をクリアする時間に充てたい。

問 リーフレットの内容変更や保護者などへの説明は。体制などの見直しを行い、改めて関係団体と協議し、決まり次第丁寧な説明をしたい。

町長 令和8年度中に、地域展開を考える準備委員会や推進協議会の構成、組織体制の見直しを行いながら円滑に進めていきたい。

問 検討委員会やその構成は。



早坂伊佐雄 議員



録画映像

質問のねらい

地域展開を教育委員会・加美ジョイ・スポ少が三位一体でやるとの合意があまりにない、暗礁に乗り上げている現状を解決するため。

町長 部活動が任意加入になる。部員数を踏まえた部活動の統廃合も、地域展開の検討材料にすべきと思うが。指摘のとおりだと思う。



PTA・教職員との意見交換会ではさまざまな意見

その他の質問

● 入札制度

若年女性の定住促進へ

町長 加美町らしさを具体化する



米木 正二 議員



問 定着には働く場が鍵である。女性が働きやすく、能力を発揮できる職場環境に向けて、企業にどう働きかけていくのか。

町長 アンケートの結果では「仕事・進学」「交通が不便」「楽しめる所が無い」が上位。就労業種の選択肢、生活インフラ、子育て環境の整備が課題である。

問 若年女性が町を離れる理由について、どのように分析し、課題として捉えているのか。

町長 10代後半から20代の転出が顕著である。流出は子どもの減少に直結し、人口減少を加速させ、持続可能性にも影響する。

問 若年女性の転出入の現状と、町の将来に与える影響についてどのように認識しているのか。

質問のねらい

若年女性の定住を促進することは人口減少に一定の歯止めをかける可能性があり、町の将来にとって重要な視点であるとの考えから。

その他の質問

なし



女性対象のスキルアップ講座を開催予定

問 若年女性に選ばれる町を目指す上で、どのような将来像を描いているのか。

町長 加美町らしさを具体化していくために、ナンバワンは難しいが、オンラインワンを目指すことが重要と思う。

問 宮城県主催の女性が活躍するためのセミナーに、町内6社が参加している。他の企業にも共有しながら、環境づくりの後押しをしていく。

新たなコンセプトと誘客策は

町長 健康と子育てを軸に誘客を図る



佐藤 佳介 議員



問 委員会で見察した他自治体のように、薬師の湯などを活用した子育て支援、町民の健康増進の取り組みも考えられるのでは。

町長 まずはどこかを尖らせていくことが重要。ターゲットを絞り新たな客層を開拓し、相乗効果で全体の活性化につなげたい。

問 集客力が落ちている土産センターも、新コンセプトの対象となるのか。

町長 包括連携協定を結んだタニタと連携した健康メニューの開発や、子どもが安心して遊べる遊具施設などを検討している。

問 施政方針にある薬業施設群の新コンセプト「Health and Kids」(健康と子ども・子育て支援)の具策は。

その他の質問

- 北朝鮮人権侵害問題啓発週間の取り組み
- 中学校部活動の地域展開



ぶな林から他施設への流れをつくる

町長 民間企業も含め薬業全体を連携させ、コーディネートする体制が必要では。

町長 薬業だけにとどまらず、町内商店街とも連携を図り、観光資源を点から線、さらには面へと広げていきたい。

問 さまざまなアイデアを絶賛募集中。子育て中の母親がゆったりできるカフェやジムの設置の要望もある。

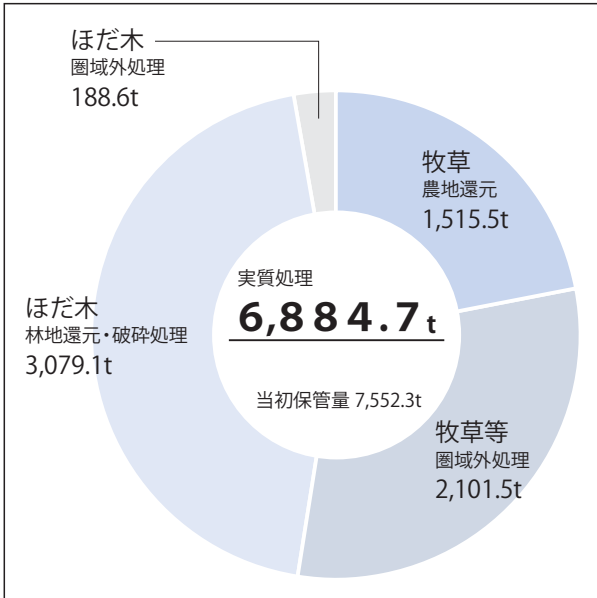
質問のねらい

薬業施設群の新コンセプトの具体策を問い、施設間連携や健康・子育て支援事業の提案から今後の新たな誘客策を明らかにする。

特別委員会
2月12日

原発事故から15年 汚染牧草・ほだ木 町内保管終了

放射性汚染廃棄物処理等調査特別委員会



これまでに処理した廃棄物の総量
※当初からの減量は保管中の水分蒸発などによるもの



平成26年9月撮影



令和8年4月撮影

牧草が全て搬出された旧田代放牧場

町担当課より、農業系放射性汚染廃棄物の処理状況について説明を受けました。
令和7年度は、3月末までに牧草260・8トンまで農地にすき込み、2,035・8トンを圏域外の処理業者に搬出し、これで加美町に存在する全ての農林業系放射性汚染廃棄物の町内保管を終了しました。

風車部品落下！危険性は？

再生可能エネルギー発電事業等に関する調査特別委員会

特別委員会
2月24日



ナセル（発電機などを納めているスペース）



ナセルハッチ支持部品

2月5日に町が報告を受けた風力発電機の部品脱落事故について、議会としても、運営管理会社のENEOSリニューアブル・エナジー・マネジメント株式会社より報告を受けました。

事故は12月20日から1か月の間に発生したとみられ、脱落した部品はナセルハッチとその支持部品です。作業員が点検後にハッチの施錠を忘れたことが原因と考えられています。脱落した部品は風力発電機から100m程度の位置で全て発見されました。今回の事故による人的・物的被害や環境への影響はありません。



本件の詳細は町ホームページをご覧ください▼

今回の事例を踏まえて、善処したいと思う。

問 稼働状況のモニターのほか、カメラでも監視しているとのことだが、異変にすぐ気づくように増台や設置箇所の検討が必要では。

問 ハッチの修繕が済むまでの間、雨や雪が内部に入ってきていたと思われるが、機器の不具合は無いのか。

エネオス 現在、不具合は発生していない。今後稼働状況を監視する。

議会のうごき

加美町議会の主な活動を報告します

2月
～4月

①



R7町主催のこども食堂

②



森林整備で増加したCO₂吸収量を企業に売却します

月 日	本会議・委員会など	内 容	
2月	2日	全 員 協 議 会	こども食堂立ち上げ支援事業などについて協議 ①
	6日	議 会 運 営 委 員 会	令和8年第1回定例会の運営などについて協議
	12日	第 2 回 臨 時 会	一般会計補正予算など
		放 射 性 汚 染 廃 棄 物 会 特 別 委 員 会	放射性汚染廃棄物の処理等について調査
		議 会 運 営 委 員 会	議会改革に関するアンケートについて協議
	24日	再 工 ネ 特 別 委 員 会	風力発電機部品が脱落した事案について調査
20日～	第 1 回 定 例 会	施政方針・一般質問・議案審議・予算審査	
3月	～5日	〃	〃
	27日	全 員 協 議 会	町有林Jークレジット創出事業に関する協定締結などについて協議 ②
	30日	第 3 回 臨 時 会	条例の制定・一部改正、一般会計補正予算など
4月	15日	議 会 運 営 委 員 会	令和8年第4回臨時会の開催などについて協議
	23日	全 員 協 議 会	筋川油漏れ事故などについて協議

※議会だよりの編集のため、議会広報常任委員会を5回（2/25、3/18、4/7、14、17）開催しました。

議会だよりに一言

議会だよりの90号（令和7年8月1日発行）に対する議会だよりのモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター

〈住民バス〉
バスが必要な方にとって、とてもいい情報だと思う。

広報委員会

町民の皆さんが知りたい内容を分かりやすくお伝えできる記事選びや紙面編集に努めます。

次回の定例会は

6 月 中 旬

から開催します

議会傍聴について



傍聴の受付は「小野田支所3階」にて行います。申請書に住所・氏名・年齢などをご記入ください。一般傍聴席は「19席のみ」となります。満席時には、1階会議室で生中継を視聴できます。

インターネットで映像配信しています



傍聴・視聴された方（延べ人数）

会 議	傍聴者人数		議会中継(LIVE)アクセス件数
	男性	女性	
第1回定例会	8	10	3,243

委員の一言

桜咲く種まきの季節に書いています。

「苗半作」という言葉があります。その年の作柄の半分は、苗の良しあしで決まる、という意味です。

良い苗とはどんな苗か。見た目でいえば茎は太く、葉はピンと立っている苗、といったところでしょ。うか。しかし見た目がどうであつても、大地に植えられてしっかりと根づく苗こそが「良い苗」なのだとは思っています。

間もなく田植えの季節。良き秋を迎えられるように、作業の安全を祈ります。

（佐藤 圭介）

議会広報常任委員会

編集委員

委員 長	高橋 聡輔
副委員 長	伊藤 由子
委 員	佐藤 圭介
〃	今野 清人
〃	早坂 潔
〃	田中 草太

台湾・東京 派遣職員インタビュー

台湾嘉義市、宮城県東京事務所に2人の若手職員が派遣されます。台湾への長期派遣は全国でも数例、宮城県東京事務所への派遣は加美町初の試みです。加美町を未来へつなぐ「種」として送り出されるおふたりに、派遣先でのお仕事のことなどをお聞きしました。

●派遣先ではどのようなお仕事をしていますか？

嘉義市政府からは「対日事務相談顧問」を委嘱されています。ビザの関係で5月から派遣される予定のため、具体的な仕事内容はまだわかりませんが、嘉義市の対日事務や、加美町と友好都市として交流していくにあたっての調整役を担うことになるかと思っています。



平成31年度入庁
さとう ゆか
佐藤 由佳 さん
【派遣先】
嘉義市政府 民政処
(令和8年5月～)

●海外でのお仕事や生活に期待や不安はありますか？

台湾では人とのつながりを大切にす文化があり、仕事の進め方にも日本との違いが見られます。こうした背景を理解しつつ、現地の言葉を早期に習得し、円滑なコミュニケーションを築いていきたいです。

また、現地の住環境はキッチン設備や水道環境など日本と異なる点がある一方で、魅力的な外食文化が発達しています。環境に応じて生活を工夫し、現地の食文化にも親しんでいきたいです。



嘉義市長から任命証書を受け取る佐藤さん

●お仕事についての抱負をお願いします。

まずは、職員派遣を受け入れてくれた嘉義市に貢献し、友好都市の交流を活発にできるように、がんばりたいと思います。そして、ゆくゆくは台湾の方々に、加美町の農林産物や食品、物品に親しんでもらったり、実際に訪れてもらったりするきっかけが作れるよう、がんばりたいと思います。



平成30年度入庁
かりの ゆうや
狩野 佑弥 さん

【派遣先】
宮城県企画部 東京事務所
産業振興班
(令和8年4月～)

●派遣先ではどのようなお仕事をしていますか？

東京都内をはじめ関東圏の企業をターゲットとした企業誘致活動を行っています。宮城県は現在、自動車関連産業、高度電子機械産業、食品関連産業を企業誘致の最重要分野と位置付けていますが、そうした産業以外にも、さまざまな産業を支える企業に対して訪問活動を行い、情報収集や情報提供を行うことで県内への誘致に繋げるためのきっかけづくりを行います。

また、県内に立地している企業に対する支援活動を行うことで、県と立地企業との継続的な関係性を構築することも重要な業務の一つです。

●東京でのお仕事や生活で楽しいことや大変なことはありますか？

仕事の面では、訪問先で宮城県のことを知ってくれていると話も弾むので非常に安堵感があります。

生活面では通勤時の電車の乗車時間が約50分という事に加え、混雑しているの座れないこともあり苦労しています。また、数年ぶりの一人暮らしということもあり、やけどをしながらも自炊をしています。



東京で仕事に励む狩野さん

●お仕事についての抱負をお願いします。

宮城県をしっかりと認知してもらい、その結果として、数年後誘致につながったように取り組んでまいります。

さらに、加美町から派遣されている強みを生かし、町のPRも行うことで加美町に興味を持ってくれる人々を増やし、新しい風が町に吹き込むための種を蒔きたいと思っています。